

外国人投資家も熱視線！  
インドに新たなメガバンク誕生！

## シャイニング・インド（マクロ関連） ～お金のことは、やっぱり銀行に相談しに行こう～

▶ **HDFC銀行が合併**

Eiチ・ディー・エフ・シー ハウジング・ディベロップメント・ファイナンス

インドの大手金融機関に、**HDFC銀行**と**HDFC Ltd**があり、似たような名前でも違いがよくわからないという声が聞かれていました。**HDFC銀行**は、1994年創業のインド国内初の民間銀行であり、8億人以上の顧客に対して7,800以上の支店、17,000以上のATM網でサービスを提供。一方、**HDFC Ltd**は、1977年創業の大手住宅金融会社で、**HDFC銀行**を傘下においていました。

2023年7月1日、**HDFC銀行**は、親会社に当たる**HDFC Ltd**を吸収合併しました。合併規模は400億米ドルとインド企業として過去最大となっています。HDFC銀行の時価総額は1,510億米ドルであり、米モルガン・スタンレーや中国銀行を抑え、世界第7位の金融機関となりました（2023年7月末時点）。合併前から、既に日本の大手メガバンクの時価総額を超えていましたが、更に規模が拡大したことにより、外国人投資家からも注目を集めています。

▶ **合併のポイント****サービスラインナップの多様化**

⇒ リテール向け、法人向け、富裕層向けビジネス、デジタル銀行業務など幅広くビジネスを展開。

**広範な顧客基盤へのアクセス**

⇒ 既存の顧客基盤に加え、合併により潜在的な顧客層の拡大、新たなビジネスを開拓。

**業務効率化とコスト削減**

⇒ 合併により、**HDFC Ltd**は、**HDFC銀行**の技術インフラとノウハウを活用ができる。結果、コスト削減、生産性の向上、業務の最適化が見込まれ、収益性の向上につながる。

**ビジネスエリアの拡大**

⇒ **HDFC銀行**は都市部や準都市を、**HDFC Ltd**は都市部や農村部に強みがある。合併により未開拓市場への参入が可能。

**財務安定性の向上**

⇒ **HDFC銀行**ももとの強靱なバランスシートに、**HDFC Ltd**の慎重な融資慣行と堅固なバランスシートが補完され、より安定性・弾力性のある金融機関が誕生。

**世界の銀行時価総額ランキング  
(2023年7月末時点、兆円)**

	銀行名	国	時価総額
1	JPモルガン・チェース	米国	65.2
2	バンク・オブ・アメリカ	米国	36.1
3	中国工商銀行	中国	31.6
4	中国農業銀行	中国	24.6
5	ウエルズ・ファーゴ	米国	24.1
6	HSBC	英国	23.4
7	HDFC銀行	インド	21.6

※ 1米ドル142.29円（2023年7月末時点）で円換算

インドは今や世界最大の人口を有する国となっていますが、未だ国民の金融資産の大半を銀行預金で占めています。インドの経済成長に伴い国民の所得が増加する中で、リテール業務に強みをもつ大規模銀行の誕生により、ローンや投資を通じて更なる経済の活性化が期待できると考えられます。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会